

平成 30 年 1 月 4 日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	県央県土整備事務所 (大田事業所)	氏名	松本 幹史
派遣先 団体名	NPO法人 出雲学研究所		
<p>① 研修の日時</p> <p>①平成29年10月24日 14:00～17:00 ②平成29年12月 2日 10:00～12:00 ③平成29年12月17日 9:00～12:00</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>①企画展のチラシを配布するため、配布先毎に必要な枚数を数えて仕分けし、封筒に入れる作業を行った。 ②12月3日に子供たちを招いてクリスマスリース作りをするイベントがあり、クリスマスリースに使用する草花の採取を行った。出雲学研究所職員とともに、荒神谷 博物館周辺の公園内で草花を探し採取した。 ③出雲国風土記、常陸国風土記の内容を詳しく紹介する講座が年間を通して行われており、その講座の受付を行った。また、受付後は一般の聴講者と共に講義を拝し、風土記に関する知識を深めた。</p>			
<p>③ 研修の感想</p> <p>(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)</p> <p>研修全般的には、従事した時間が短かったこともあり、派遣先の手助けにはならなかったかと思えます。 チラシ配布は実際やってみると想像していたより相当な手間がかかり、この作業を年間を通して行うことは大変であると感じました。 クリスマスリース作りはイベントの日は職務の都合で参加できませんでしたが、身近な場所で採取した材料でリースが作れることに面白さを感じました。また、何が使える材料なのかの判断が難しかったですが、職員の方の材料の見つけ方がとても参考になりました。 講義の内容は、風土記を詳細に解説するものであり、難解な内容が多かったですが、講師の説明は面白く聴講者の心を捉えるものでありました。普段の職務でも住民に事業の内容を説明する機会は多くあり、聞く人の心を捉える話し方はとても参考になりました。 短期間の研修ですので、経験したことがすぐ身につくというものでは無いですが、普段と異なる仕事、雰囲気、職員に接することは非常に良い刺激になりました。特に、イベントや講義は来られる「お客様」に対する仕事であり、この感覚は普段の職務では感じる事が少ないため、県民の方々は仕事におけるお客様であるという基本的なことを改めて感じることができました。</p>			
<p>④ その他特記事項</p> <p>(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p>			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成 30 年 1 月 31 日までに人事課あてにメールで提出してください。